



(第10期) 第13回まつもと子ども未来委員会の報告

2月16日(日)にあがたの森文化会館でまつもと子ども未来委員会を行いました。
この日は、委員22人と大学生サポーター1人が参加しました。

1 まちづくりに関するワークショップ

総合戦略室の丸山さんから、“理想の松本市”について、スライドを見ながら説明をしてもらいました。各グループに総合戦略室の職員が入り、名前、学年、よく出沒する場所を話して自己紹介しました。

よく出沒する場所は、みんなが今まで友だちに対して抱いていたイメージと違うこともあり、笑いが起こり、場が和みました。

その後、出された課題“理想の松本市”について、気づいたことや感じたことを付箋に書き出しました。「未来の松本市」というテーマでしたが、今の生活の中で身近に感じていることの方が書きやすかったため、学校や交通に関する意見が多く出ました。それ以外にもさまざまな意見が出てきて、周りの友だちと話しをしながら書く姿も見られました。

書いた付箋を「まちのスポット」「学校・教育」「歴史・伝統」「自然・環境」「交通」「イベント・文化」「デジタル」「その他」の8つに分類して貼りました。また、ほかのグループの人がどんなことを書いているのかを見たり、共感したり、素敵だと感じた意見に「いいねシール(赤丸のシール)」を貼りました。

友だちの意見を見て、さらに盛り上がり、「本当にそうだね」とほかの人の意見を認め合う姿もありました。

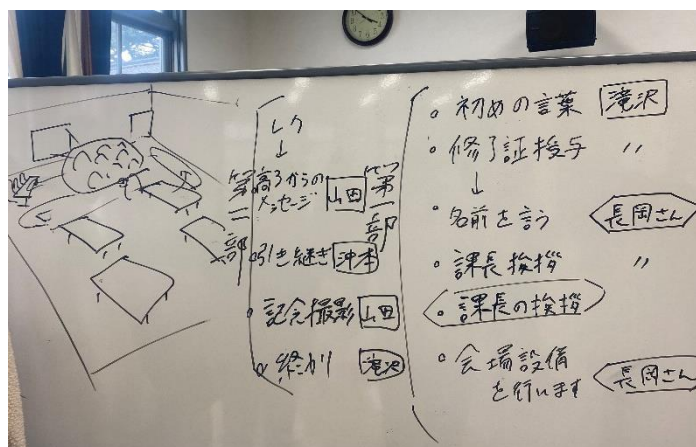
やさしく子どもたちの話を聞いてくださった総合戦略室の皆さんありがとうございました。



2 修了式・お楽しみ（3月9日）について

前回出た意見をもとに、次回の修了式の計画・準備をしました。

「司会」「会場」「音響」「お楽しみ」の4つのグループに分かれ、それぞれ前回の意見を確認し、実際にできることややりたいことについて話し合いました。また、ほかのグループと協力が必要なことについては、グループ同士で話し合い、調整しながら修了式の流れを決めました。



流れやイメージは、ホワイトボードを使って共有しました。文字や図にすることで、イメージが伝わりやすくなり、意見も整理しやすくなりました。その結果、出てきた意見がまとまりました。

高校生は小中学生の意見を聞きながら場をまとめてくれ、「こうしたらどうかな?」「こんな感じはどう?」と積極的に提案する姿も多く見られました。幅広い年齢層が協力して活動していることで、伝え合うつながりを見ることができました。



自分たちで企画した修了式。

みんなで楽しみましょう!!